

わくわくとしょかん

第 113 号(2011年秋)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ531-6551

どようびのおはなしかい

いろいろなテーマで本をしょうかいするよ♪

(毎週土よう日) 1かい じどうしつ

1ぶ: ごご2じ30ぷん~(4さいいじょう)

2ぶ: ごご3じ~ (しょうがくせい)

★10月は 1・8・15・22・29日

★11月は 5・12・19・26日

おひざにだっこのおはなしかい

(毎月第3木よう日) 1かい じどうしつ

ごぜん10じ30ぷん~

(3才くらいまでのお子さんとおとうさん・おかあさん)

★10月は 20日

★11月は 17日



おはなしかいのおしらせ



にちようおはなしのへや

~昔話などの「語り」をきくおはなしかい~

(毎月第3日よう日) 1かい じどうしつ

ごご2じ~

★10月は 16日

★11月は 20日



ファミリー映画会

(毎月第2日よう日)

3かい かいぎしつ

ごご2じ~

★10月は 9日

★11月は 13日



10月 としょかんカレンダー - 11月



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

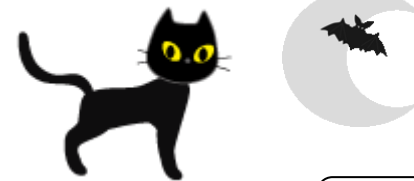
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

□…市立図書館・蓬萊・清水・吾妻・飯坂・もちずり・北信学習センターはおやすみです。

○…子どもライブラリーはおやすみです。

※その他の学習センターについては各図書室にお問い合わせください。

あたらしいほん



E (えほん)

『ぞうさんのおとしあな』(E タカバ)

高島 純/作 ポプラ社

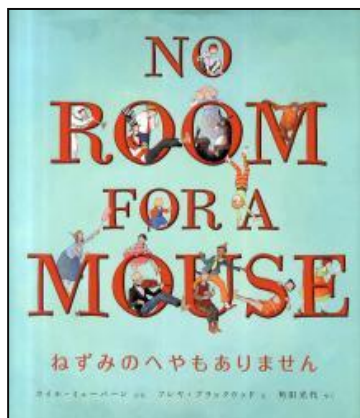


いたずらずきのぞうさんは、いっしょうけんめいおとしあなをつくりました。だれかがおどろくのがみたくて、わくわくしながらはっぱのかげにかくれます。ところが、いくらまってもなかなかおちてくれません。おとしあなでみんなをおどろかすことができるかな。

『ねずみのへやもありません』(E ブラッ)

カイル・ミューバーン/ぶん フレヤ・ブラッグウッド/え

角田 光代/やく 岩崎書店



クリストファーは、おおきなおうちに、おかあさんとねずみのスニーカーとくらしています。おうちがなくてこまっているひとにつぎつぎとであい、「ぼくのうちにひっこしてきたら？」とさそいますが…。

おへやはたりかな。

『バレエをおどるいぬなんていない？』(E オギル)

アンナ・ケンプ/文 サラ・オギルヴィー/え かどの えいこ/やく

BL出版



いぬはバレエをおどらないってみんないうけれど、わたしのいぬ、ビフくんはおんがくとつきのひかりとつまさきだちであるくのがだいすきな。

あるひ、ロイヤルバレエをみにいくわたしのあとをつけてきたビフくんは、つまづいたバレリーナのかわりに…。

Y(よみもの)

『一年一組ミウの絵日記』(Y913 ヨシダ)

吉田 純子/作 市居 みか/絵 PHP研究所



ねんせい 1年生になったミウちゃんは毎日絵日記を書くことにしました。ある日パパから「友情のおまもり」を4つもらいます。1つは自分の分に残りの3つはお友だちにあげること決めたミウちゃんは、新しい友だちづくりのためにクラスみんなのかんさつをはじめます。

『カメレオンのレオン』(Y913 オカダ)

岡田 順/作 偕成社



さくらわかばしょうがっこう 桜若葉小学校では、ペンギンが追いかけてきたり、カラスノエンドウが森になったりと、へんなことばかりがおこっている。いったいだれが何の目的で…。分かっているのは消えるときにケケケという笑い声が聞こえてくることだけ。犯人をつかまえることはできるかな。

『キャットと王立劇場のダイヤモンド』(Y93 ゴルデ)

ジュリア・ゴールドディング/作 雨海 弘美/訳 静山社



ねんまえ およそ200年前のロンドン。劇場で暮らすみなしごの少女・キャットはある日劇場にダイヤモンドが隠されていることを知る。支配人にダイヤを守るように言われるが、次第に謎は深まっていき…。劇場の仲間や貴族の子ども、ギャングなどを巻き込みながらキャットが活躍するシリーズ第1弾。

B(そのた)

『米村でんじろうのイッキによめる！おもしろ科学 小学一年生』

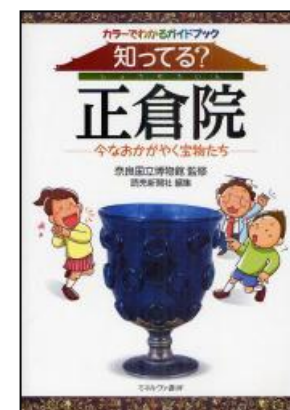
(B40 ヨネム) 米村 でんじろう/著 講談社



「かがみにはどうして、ものがうつるの？」
「おしっこはどうして、出るの？」
わたしたちのまわりにはふしぎなことがたくさんあります。でんじろうせんせいといっしょにかんがえてみよう。

『知ってる？正倉院』

奈良国立博物館/監修 読売新聞社/編集 ミネルヴァ書房



ならじだい ひとびと じっさい つか 奈良時代の人々が実際に使っていたものがおさめられている正倉院。年に一度だけ博物館で公開される多くの宝物は、どのように集められ、千年以上もの長い間きれいなまま保存されてきたのでしょうか。宝物だけでなく、奈良時代に活躍した人物の秘密もわかる1冊です。

『南の島』『北の島』(B73 ナガク)

長倉 洋海/著 偕成社



きた しま みなみ 北の島「グリーンランド」と南の島「カンピガマランギ」は、遠くはなれているけど、実はとてもよく似ています。自然と上手に付き合っ生活する2つの島の人々。いきいきとした顔・きれいな自然をたくさん写真で感じて下さい。



おかえりなさい の本



『よくぞごぶじて きつねのかぞくのおはなし』（Eベメル）
ルドウィヒ・ベーメルマンズ／作 BL出版

きゅうじつ あさ ひと
休日の朝、ラッパがなりひびき、たくさんの人があつまって
たの 楽しいきつねがりはじめられます。うなる犬たちに追いかけてら
お いぬ お
れても、ちえのあるきつねはなんとか逃げのびようとします。
に
だって、きつねにも待ってる家族があるのですから。

『よるのおるすばん』（Eベンソ） 評論社
マーティン・ワッデル／文 パトリック・ベンソン／絵



さん
三わのふくろうのひながいました。フーにポーにピョ。
ある夜、目をさますと、おかあさんがいません！
よ め
なかなか帰ってこないおかあさんを、外にでて待つことにします。
かえ そと ま
「ママに あいたいよう！」



きたぐに どうぶつ き
『ハクチョウ 北国からの動物記』（B48タケタ）
竹田津実／文・写真 アリス館

ふゆ にほん
シベリアのきびしい冬をのがれ、ハクチョウは日本にもやってきま
す。ハクチョウの夫婦は一生いっしょ。なかよくくらすようすや、
ふうふ いっしょう
しぜん すがた
自然にたちむかう姿はとてもうつくしいものです。
はる かえ しやしん
春がきて、ふるさとに帰るまでをすばらしい写真でおいかけます。

かぎ ひみつ
『鍵の秘密』（Y913フルイ）
古市卓也／作 福音館書店



ひ どう き
ある日、お父さんが消えた。そしてぼくはふしぎな鍵を渡された。
それは別の世界とつながる鍵。ぼくはその鍵を使って学校のたくさ
べつ せかい かぎ かぎ つか がっこう
さんのとびらからその世界へ入っていく。そこで試される勇気と
せかい はい ため ゆうき
ゆうじょう ひと かえ ま
友情。人はみんな、帰りを待ってくれるだれかがいるんだ。

